

坂井市議会だより



坂井市

第32号

2014.4

3月定例会



表紙：国体に向けた人工芝化の整備が進む丸岡スポーツランドサッカー場とクラブハウス



福井しあわせ元気国体
福井しあわせ元気大会
マスコットキャラクター
「はぴりゅう」

主な内容

- ・当初予算概要 ————— 2～3
- ・予算特別委員会報告 ————— 4～5
- ・一般質問 ————— 6～11
- ・常任委員会報告 ————— 12～14
- ・定例会審議結果 ————— 15
- ・議会報告会報告 ————— 16
- ・補正予算概要・
広域連合・一部事務組合報告 — 17
- ・議会報告会日程 ————— 18



三国南小学校 6年

有馬 未結さんの作品です。

「坂井市議会だより」
の題字は、

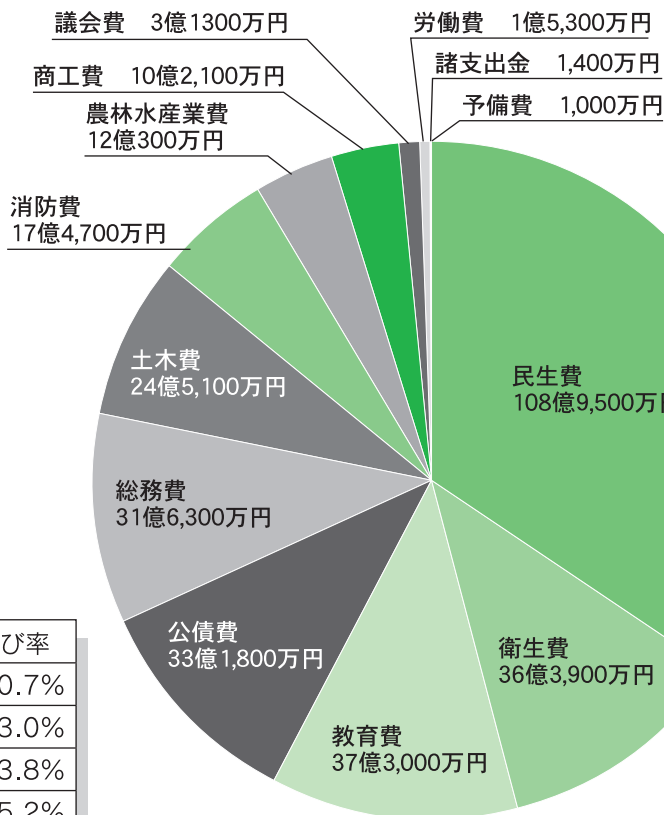
平成26年度予算

一般会計

歳出

予算に関する主な用語解説(歳出)

- **民生費**・・・福祉全般にかかる事業、各種医療扶助、保育施設などにかかる経費
- **衛生費**・・・国民健康保険特別会計、一般廃棄物収集処理、環境対策などにかかる経費
- **教育費**・・・小中学校の運営・整備、生涯学習、図書館の運営などにかかる経費
- **土木費**・・・道路の整備、除排雪、公営住宅などにかかる経費
- **農林水産業費**・・・農業や林業の振興、水産業などにかかる経費
- **公債費**・・・借入金に対する返済金



会 計	予 算 額	伸び率
一般会計予算	316億5,700万円	△0.7%
国民健康保険特別会計	91億8,460万円	3.0%
後期高齢者医療特別会計	9億265万円	13.8%
水道事業会計	30億4,678万円	15.2%
公共下水道事業会計	74億2,022万円	29.9%
農業集落排水事業会計	4,903万円	1.5%
病院事業会計	25億9,290万円	10.6%
総 計	548億5,319万円	4.8%

総合計画の主な

住民とともに育むまちづくり

★ふるさと創造プロジェクト事業	6,916万円
協働のまちづくり事業	4,661万円
庁舎管理事業 (本庁舎省エネ空調改修)	9,700万円

多様な都市活動を支えるまちづくり

末政・随応寺線道路改良事業	1億4,170万円
宮領北部線道路改良事業	7,050万円
福島江留上線道路改良事業	4,700万円

地域の活力を創造するまちづくり

三里浜砂丘地園芸産地育成事業	1億3,366万円
☆地域用水機能増進事業	3,612万円
★中小企業振興計画策定業務委託	216万円
中小企業事業振興資金融資事業	5億1,900万円
企業立地促進事業(助成金)	1億2,686万円

安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

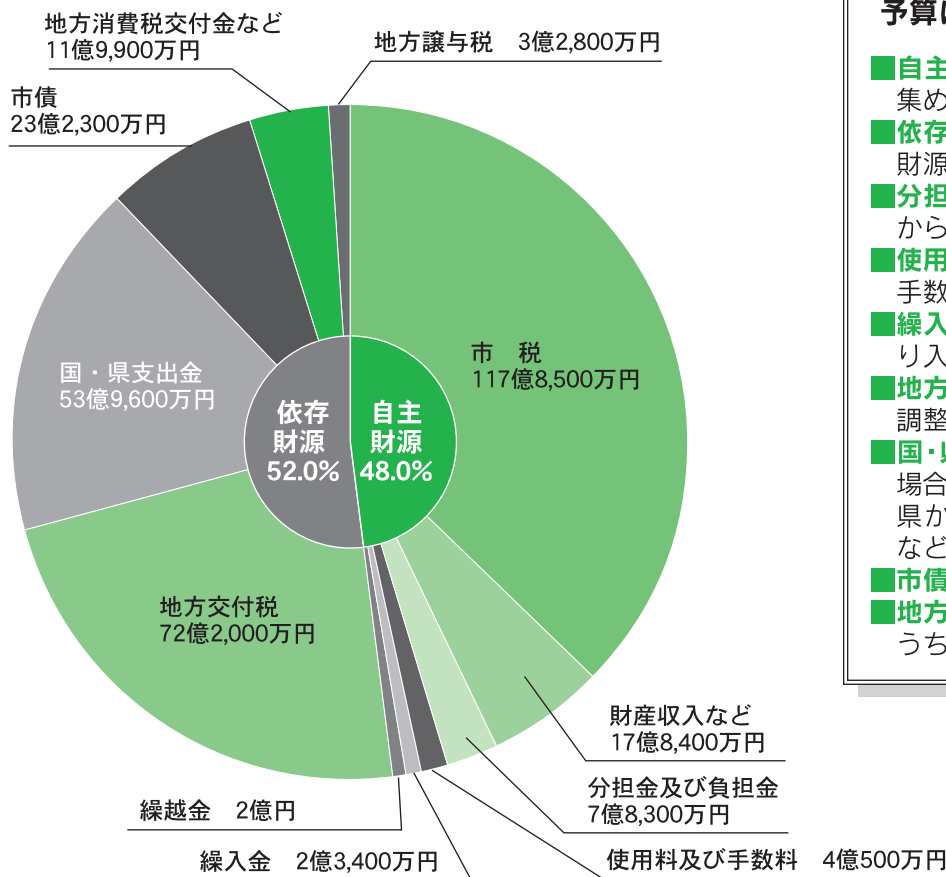
★防災事業 (災害備蓄物資・地域防災計画作成委託)	900万円
住宅リフォーム支援事業	620万円
浄水場施設整備事業 (東二ツ屋水源地整備)	3億5,600万円
嶺北消防組合負担金 (嶺北消防署改修工事など)	3億6,106万円
未普及解消下水道事業	14億4,050万円



▲ゆりの里公園と調圧水槽(春江北部)

総額 316億5,700万円 (前年比△2億2,700万円)

歳入



予算に関する主な用語解説(歳入)

- 自主財源・・・市税など、市が自前で集め、自由に使える財源
- 依存財源・・・国や県などから受ける財源(使途限定)
- 分担金・・・特定の事業に伴う受益者からの収入
- 使用料及び手数料・・・住民票の交付手数料や各公共施設の使用料など
- 繰入金・・・財政調整基金などから繰り入れられる財源
- 地方交付税・・・自治体間の財源格差調整のため、国から交付される財源
- 国・県支出金・・・特定の事業を行う場合に、その経費に充てるために国、県から交付される負担金や補助金など
- 市債・・・借入金
- 地方消費税交付金・・・地方消費税のうち、県から交付される財源

重点施策予算 (★:新規 ☆:拡充)

美しい自然と共生するまちづくり

★環境基本計画推進事業企画運営委託	150万円
一般廃棄物収集処理事業	9億2,082万円
街なみ環境整備事業 (サイン設置工事、三国湊街なみ環境整備事業)	1,818万円

誰もが笑顔で暮らせるまちづくり

☆福祉タクシー利用料助成 自立支援給付事業 (介護・訓練等給付金、医療費支給)	810万円 14億9,953万円
☆敬老会事業 健康増進事業 (がん検診、基本健診、後期高齢者事業)	1,450万円 8,621万円
★健康都市推進事業	200万円
☆子ども医療扶助 保育所施設整備事業	2億9,500万円 4,916万円

生涯を通じて学び・育つまちづくり

学級運営支援事業	7,327万円
★公民館耐震診断事業	1,900万円
☆国体推進事業(丸岡スポーツランド改修工事)	9,720万円
文化施設管理運営事業	1億3,178万円
★ブックスタート事業	100万円



▲耐震診断予定の三国公民館

地域全体でもてなすまちづくり

坂井市産業フェア事業	1,500万円
観光ビジョン戦略事業	3,458万円
国際交流派遣事業	1,169万円

予算特別委員会

議会は、意思決定機関としての役割と議会が果たすべき政策形成機能及び執行機関である行政機関を監視する立場から予算特別委員会を2月13日、14日、3月5日の3日間にわたり市長、副市長、教育長をはじめ担当部課長の出席を求め、平成26年度坂井市一般会計予算ほか7件の予算について審議しました。

主な審議内容は次のとおりです。



総務部所管

- ・職員再任用の見込みと職務内容。
- ・中国嘉興市との交流についての中期計画。
- ・LED防犯灯の要望は増えているなかでの、予算減額の理由。
- ・公共施設マネジメント支援システムの内容とメリット・デメリット。
- ・平成25年度予算の海抜表示板設置工事進捗状況。

- ・防災行政無線デジタル化で、三國地区完了後の他3地区の実施計画。
- ・坂井高校となることにより、JR丸岡駅の業務体制を整えることが必要。
- ・地域おこし事業支援員とふるさと創造事業推進員の役割。



財務部所管

- ・市民税が増額となっている根拠。
- ・これまでの市有財産などの有効活用状況と計画。
- ・コンビニ収納など利便性を高める政策を実施しているなかでの、収納率低下の要因。
- ・消費税増税の影響。
- ・公用車購入費用で、一元管理されていない理由。
- ・人口減少など市を取りまく環境を踏まえ、将来を見すえた長期の方向性を示し、各年度の予算編成をする必要性。

生活環境部所管

- ・資源回収奨励金のあり方。
- ・温暖化防止では継続が大事であり、更に広める対策や未利用エネルギーの具体的事業。
- ・海ごみ川ごみプラットフォームさかい事業で、市民運動になるよう盛り上げることが必要。
- ・住民票などの自動交付機の今後の方向性。
- ・環境基本計画推進事業での外来種駆除の内容。
- ・国民健康保険特別会計の一般会計からの繰り入れ根拠。

- ・コミュニティバスの今後の方向性。



福祉保健部所管

- ・保育園の体制と幼児教育。
- ・学童保育（児童クラブ）指導者の体制と業務。
- ・臨時職員（保育士・幼稚園教諭）の割合。
- ・お泊りデザイナーの必要性と施設の基準。
- ・生活保護生活指導における社会福祉主事資格。
- ・特定不妊治療助成事業で、推定値が低く設定されている理由。

- ・がん検診受診者増加の要因。
- ・社会福祉法人など指導監査事業の対象。
- ・地域支援包括支援センターの業務委託内容、臨時職員、介護予防計画。
- ・病児・病後児保育委託の新設保育園における対応。



産業経済部所管

- ・経営所得安定対策事業について、農地集積の見直し。
- ・坂井市商工会事業補助の事業内容。
- ・越前加賀宗教文化街道推進協議会の目指すところ。
- ・観光連盟が旅行業の資格を得ることでの狙い。
- ・ユリ生産奨励事業の強化。
- ・特産そばの今後の事業の方向性。
- ・農業者労働災害共済での対象農家数の推移と今後の見直し。
- ・中小企業市内全事業所への訪問調査。

- ・カルテ作りで経営支援の具体化。
- ・カラス捕獲対策やカラス糞対策。
- ・カラス捕獲での鷹匠依頼。
- ・観光PRでボスターの充実やネット配信などの促進。

建設部所管

- ・都市公園長寿命化計画の実施計画。
- ・街なみ環境事業でのサイン設置工事と市のサイン事業計画との整合性。
- ・道路台帳管理とGISの整合性。
- ・融雪計画。
- ・河川洪水対策。
- ・公園などの外灯におけるLED化の進捗状況。
- ・ふるさと百景活用事業費補助金と丸岡城周辺景観まちづくり事業費補助金の内容。
- ・住宅リフォーム支援事業。



上下水道部所管

- ・給水件数や給水量の推移と今後の見直し。
- ・下水道接続率の現状と、その向上対策。
- ・上下水道事業包括的民間委託と政府行革指針との関わり。

教育委員会所管

- ・小学校司書職員の配置。
- ・電子黒板の各小中学校における配置状況。
- ・竹田体育館の管理方法。



- ・国体に向けての人材育成。
- ・文化財標識看板の設置理由と一筆啓上資料館への誘導案内。
- ・学校給食センターの正職員と臨時

- ・職員の配置。
- ・公民館の臨時職員数や配置計画。

三国病院所管

- ・病院改革プラン。
- ・在宅医療支援の取組み。



一般質問

市立三国病院について

問 医療費の支払いについて、患者の利便性向上のため、クレジットカードやデビットカードを使えるようにしてはどうか。

市長 三国地区区長会からの要望もあり、平成26年4月からカードの利用ができるよう準備を進めている。

問 外来待合室に診療待機順序や院内情報などを示す電光掲示板を設置してはどうか。

市長 医療スタッフと患者とのコミュニケーションを重視するという考えから、現段階では電光掲示板は予定していないが、本年3月中に外来の方を対象にアンケートを行って、患者のご要望に対応していきたい。

問 医療従事者支援のため、院内保育施設の整備などを提唱してきたが、導入に向けた取り組みは。

市長 病院の職員構成や財務状況などを考えると、早急に院内保育施設を整備することは非常に困難な状況にある。

児童福祉の充実について

問 平成27年4月施行予定とされる子ども・子育て新制度の本格スタートに向けた取り組みは。



市 長 志 人 辻

市長 平成26年4月に、学識経験者や

教育関係者、保護者の代表

などで構成される坂井市子ど

も・子育て会議を設置し、坂井市に

おける教育・保育施設や保育事業の

利用定員の設定などを行い、平成26

年度内に事業計画を策定してい

たい。

問 平成26年4月から三国地区でも新たに幼保一元化が図られるが、受け入れ施設の人員体制や設備は整っているのか。

市長 人員体制については、丸岡地区の保育園などの例を参考にして、4月の人事異動により必要な人員体制を図りたい。

施設整備については、必要と認められるところは改修工事を行って

おり、備品

などの整備

を含めて、

4月の開園

に万全の態

勢で臨みた

い。



▲三国病院待合室

防災メールの利用者拡大について

問 携帯電話の普及が進んだことを活用して、防災メールが3月から運用されることは、行政情報の迅速な伝達には効果的と考える。

しかし、通話以外の携帯の様々な機能を使いこなせない市民がいるのも実情で、より多くの市民の役に立つよう、利用者をどのように拡大するののか。

市長 これまでの安心安全メール(安心安全情報ネットワーク)を一新した防災メールは、聴力障がいのある方々にも文字で確実に情報を伝えることができ、防災・健康・鳥獣害・不審者情報など時機に応じて対応できる手段として実施する。

安心安全メールでは登録者数が500人程度であったが、今回はQRコードを用いて登録するために、積極的に利用者の拡大に努めたい。

近くホームページや広報で登録方法を知らせるが、出前講座など各種イベントなどでも新システムの周知を図りたい。

海女漁の保護と継承について

問 海女漁は全国で18か所で行われていない希少な産業文化であり、三重県では世界文化遺産として登録を目指す動きが具体化している。



市 長 純 宏 上 出

三国海岸でも伝統的な漁

法として海女漁が受け継がれて

きたが、従事者の高齢化、後継者不足

もあり近い将来には継承できない可

能性もある。

現況を捉えて市ではどのように対処するののか。

市長 昭和53年には180名ほどいた海女さんも現在は63名と減少し、10年後には20名程度に減少することも想定できる。

県では平成26年度に海女漁の技術や習俗について調査を実施するので、これと連携して対応するとともに、漁場の整備や稚貝の放流などの支援に努めて、海女漁の保存継承を励ましたい。



▲スマートフォン・パソコンの場合
URL: <https://www.otokunet.jp/cgi/bousupregist.php?SID=355>



▲携帯電話の場合
URL: <http://www.otokunet.jp/cgi/cinfo.php?ac=1&SID=355>

道路について

問 スクールゾーンなどを含む学校周辺や住宅密集地、観光客が歩く地域などは、各路線で速度設定をするのではなく、広く面的に制限速度を時速30キロメートルに設定する「ゾーン30」を設定できないか。

市長 市民要望を十分に踏まえながら、必要と認められる地域への「ゾーン30」の設定について働きかけたい。

問 県や市において車道と歩道が整備された道路においては、可能な限り制限速度を時速50キロメートル以上にすべきでは。

市長 必要に応じて公安委員会に働きかけ、安全で円滑な交通環境を確立していきたい。

バイオマスについて

問 市のバイオマススタウン構想では、木質バイオマスのエネルギー資源としての位置づけがされていない。

市長 再生可能エネルギーに対する関心が高まっており、木質バイオマスを地域のエネルギー資源として位置づけすべきでは。

市長 構想は地域における未利用資源の活用策を中心としたもので、現段階での見直しは考えていないが、状況の変化によっては必要に応じて見直しを検討したい。



▲ゾーン30区域

問 市の温泉施設や温泉水プールなどの熱源として、木質バイオマスを活用できないか。

市長 現在、企業が中心となり木くずを燃料にした木質バイオマスボイラーを普及させる取り組みをしており、この事業に関心を持ち見守りたい。

※ゾーン30：生活道路における歩行者などの安全な通行を確保するため区域を定めて時速30キロの速度規制を実施する。



川畑 孝治

福井港丸岡インター連絡道及び福井森田丸岡線について

問 国の事業採択に向けた要請活動と見通しについて。

市長 国土交通大臣や技監・道路局長及び県選出国会議員に要請を行った。

都市計画決定がされた場合には、国としても応分の対応をしたいとの返答があり、手応えを感じている。

問 福井森田丸岡線の整備の必要性和計画について。

市長 市役所から市道若長通り線ととおり、福井市に至る重要な路線と認識している。

市道若長通り線を県道にして、一体的に整備するよう要請したい。

整備については、新九頭竜橋や新幹線及び福井市側との工事の時期もあるので、計画的に整備するよう要望したい。

問 中筋東地区の住民の理解はどこまで得られているのか。

市長 数回にわたり、道路や新幹線整備に関する説明会を開催する中で、おおむね理解が得られたものと認識している。

問 地元では区画整理事業や緑地帯、進入道路などの要望があるが、どこまで取り入れられるのか。

市長 良好な農地や買収残地の整備



▲福井港丸岡インター連絡道及び福井森田丸岡線

の要望はあると思う。
新幹線整備機構からの助成も含め、地域の要望には対応したいと聞いている。
県にも強く要望したい。



橋本 充雄

活力あるまちづくりについて
(現状と課題について)

問 住民と行政の協働によるまちづくり推進は。

市長 地域の主体性、自主性を尊重しながら、市民と行政が協働し、健康で安心して暮らせるまちづくり、住み良い地域づくりができるよう支援していく。

問 定住促進と雇用安定での地域産業の安定化は。

市長 新たな企業誘致を図ることや、県が実施している、ふるさと起業家育成事業などにも積極的に取り組み、定住化を促進していく。

地域産業の安定化については、中小企業振興基本条例に基づき、地域における雇用の確保と中小企業振興のための各施策を講じていく。

問 防犯・交通安全対策でのまちづくりは。

市長 高齢者などが被害に遭わないよう街頭犯罪の未然防止が課題である。

高齢者が犠牲となる交通事故が目立つなど、高齢者対策や通学路の交通安全確保が重要であり、警察や関係機関と連携し、効果的な対策をしていく。

問 自然環境の保全と共生と健康づくりの推進は。

市長 環境基本計画に

基づき、よりよい生活環境を子ども達の未来に残していけるよう努めていく。

健康都市宣言をし、家庭・保育所・学校・地域・医療関係・行政などが協働して市民の健康づくりを推進していく体制を整える。

問 スポーツ振興の環境整備は。

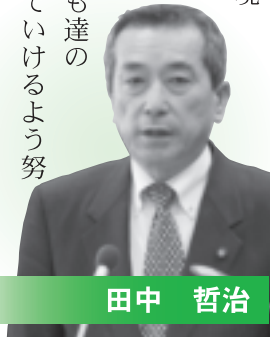
教育長 平成30年に福井国体に合わせ、丸岡スポーツランドの天然芝張替えや三国運動公園、三国体育館及び丸岡体育館の改修など、国体会場としての施設整備を計画的に実施していく。「十郷橋」を文化遺産に登録しては

問 PC鋼線工法により、国内で初めて造られた「十郷橋」を文化遺産に登録してはどうか。

教育長 施工から60年以上が経過し、登録文化財の要件は備えているが、施工当時とは外観が大きく変わっているため、文化財保護審議会で慎重に検討していく。



▲十郷橋



田中 哲治

健康長寿に向けた坂井市の取り組みについて

問 健康長寿や介護予防についての取組みとして、健康データのデータベータ化をすべきではないのか。

市長 平成26年度より、健診・保健指導・医療・介護のデータを融合した国保データベースシステムを導入する。これにより国保被保険者の健康や介護状態の把握が可能になる。

問 後期高齢者医療保険に加入する人も対象とすべきではないのか。

福祉保健部長 今後、実施されると聞いている。

問 地域包括ケアシステムでは、在宅ケアや在宅介護を支える上で、地域包括支援センターや三国病院の役割は益々重要になると考えるが、その方針は。

市長 地域包括支援センターが中心となり、医療・介護・福祉の関係強化を進めている。

三国病院では、地域医療連携室を設置し、在宅医療の支援を図っている。
問 三国地区の介護予防拠点施設を子育て支援センターに一部変更した理由は。

市長 駐車場スペースなど施設環境や立地条件を考慮し、介護予防事業に支障が出ない範囲で一部借用することにした。



▲地域包括ケアシステムの姿(厚生労働省ホームページより)

児童クラブの募集要件について

問 平成26年度の募集より、利用要件が厳しくなったのではないのか。

市長 国の示すガイドラインを遵守するものである。
福祉保健部長 施設の定員もあり、全員受入れは難しい。

今後、空き施設を活用するなどして、受入れ増に努めた



伊藤 聖一

健康都市宣言について

問 11月に予定している健康都市宣言はどのように考えているか。

市長 誰もが笑顔で暮らせるまちづくりの基本となる第2次坂井市福祉保健総合計画を推進するため、市と市民が一体となって健康施策を積極的に推進することを宣言したい。

問 都市宣言の策定委員会のあり方は。

市長 学識経験者、各種団体の代表で組織したい。

問 母子保健計画の復活が必要では。

市長 健康さかい21計画に胎児期から高齢に至るまで一貫した施策を掲げている。

平成26年度に策定される次世代育成支援行動計画に、母子の健康という分野を盛り込むことになっている。**問** 食に関する指導体制の整備方針について。

市長 第2次食育推進計画では「生涯にわたるライフステージに応じた絶え間ない食育活動の実践」を重点方針としており、食が生活習慣病に大きく関与し、子どもの時から予防策と改善のための指導体制を強化している。

問 学校教育における食に関する指導体制の整備方針について。

教育長 食生活と心身の発育・発達



田中千賀子

などの内容は、給食の時間とはもとより各教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動など、学校のあらゆる教育活動全体を通して行っている。

食育の指導については、栄養教諭と連携をしながら学級担任及び教科担任が行っている。

問 栄養教諭は、3名で足りているのか。

教育長 県全体で枠が決まっており、栄養士・栄養職員5名と栄養教諭3名の8名で、食について指導をしている。



▲いねすで開催された食育フェスタ

正規職員の採用を増やし、臨時職員の待遇改善を

問 合併時から正規職員は124人の減、臨時職員は117人の増である。

同一労働同一賃金が原則であり、正規職員を増やし、臨時職員の待遇改善を求める。

市長 職員の確保は正職員を主体に考えており、臨時職員も重要な役割を担っている。

今後は採用候補者名簿制度や臨時職員の登録希望制などを研究・検討していく。

臨時職員の待遇改善については、平成25年度より賃金の月額及び時給単価とも増額しており、平成26年度からは結婚休暇の付与なども実施していく。

消費増税における市と市民への影響について

問 4月からの消費税増税における市と市民への影響をどうとらえ、景気回復になると考えるのか。

市長 地方消費税交付金の増収による地方交付税への影響は及ばないものと考えている。

国の経済対策などに伴う景気動向などを見きわめた上で、今後、市としての対応を判断していく。

融雪装置設置の計画について

問 雪対策として、融雪装置の計画を立てることが必要では。

市長 費用対効果を考えると降雪時期の円滑な道路網の確保を図ることが、効果的・効率的であると考えている。

雇用促進住宅について

問 入居者の集合化は、市が積極的に関わり住居の確保に責任をもつべき。

市長 雇用支援機構と協議し、買い取りも含め最善の策を講じていきたい。産業経済部長 入居している41世帯の意見を尊重しながら検討していきたい。



▲雇用促進住宅丸岡宿舍



畑野麻美子

消費税増税による価格転嫁対策について

問 市の認識と現状をどのように捉えているか。

市長 消費税の円滑かつ適正な転嫁を確保するために、消費税率引き上げに伴う買い叩きや減額などの行為を禁止する消費税転嫁対策特別措置法が平成25年10月1日に施行されている。

消費税の価格への適正な転嫁の問題は、今後、市内の事業者、とりわけ中小企業・小規模事業者にとって大きな懸念事項になってくると認識する。

問 市の対策として、気軽に相談できる体制、充実を求める。

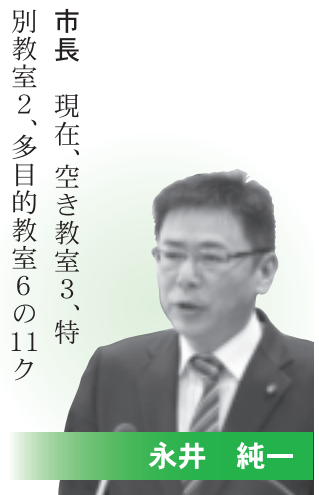
市長 市消費者センター及び商工部局の窓口を通じ、国の相談窓口である消費税価格転嫁等総合センターや市商工会などの関係機関と連携を図り、相談や情報提供に努める。

放課後児童クラブについて

問 移動距離の少ない学校内が安全と考え、今後、小学校6年生までを対象にすると、相当数の施設が必要となる。

そのことから、空き教室や普通教室などが活用できる学校が最適と思う。

空き教室の現状と今後の方針は。



永井 純一

市長 現在、空き教室3、特別教室2、多目的教室6の11クラブである。

平成26年度から空き教室で1クラブ増え、12クラブとなる予定。

設置場所として、学校及び付近の幼稚園などが最良と考えている。

今後、幼保園化により閉園となる幼稚園などの利用を図るとともに、教育委員会と連携し、学校の理解を得ながら空き教室を活用し、設置場所の確保を図る。

また、普通教室の利用も検討していく。



▲坂井市消費者センター窓口

JR丸岡駅とその周辺整備について

問 平成26年度より、坂井農業高校が坂井高校として開校される。

平成25年度には240人の生徒が、26年度4月には約500名、28年度には840名となる見込みである。

現在、JR丸岡駅は、簡易委託駅としてシルバー人材センターに委託しているが、28年度には乗客が大幅に増え、クラブ活動などで夜遅く帰る生徒も増える。

委託時間の見直しなども検討が必要である。

また、えちぜん鉄道やコミュニティバスを利用する生徒も年々増えることから、通学する生徒の利便性を確保する必要がある。

市としてどのような対応を考えているのか。

市長 JR丸岡駅については、今後の利用状況や駅舎内での待合状況を踏まえ、簡易委託業務内容の充実を図るなど、JRと協議しながら検討していく。

コミュニティバスについては、学校側と生徒の通学方法について協議し、市内各高校の生徒が登校の際に利用する基幹ルートの利用状況を調査したところである。

えちぜん鉄道については通学時の



木村 強

公共交通機関との連携や利便性を高めるため、通学者の利用状況を見きわめながら、コミュニティバスとえちぜん鉄道との結節についてダイヤ改正の検討を進めていきたい。



▲JR丸岡駅

地域ブランド推進について

問 地域ブランドに対する取り組み状況は。

市長 坂井市ブランドの構築は、産業振興の重要課題として取り組んでおり、具体例としては、「花あかり」やそば、越前がに、越前織などの地域産品のブランド商品化と生産振興などを推進している。

また、市商工会が主体となって進める越前坂井ブランド事業や、うちの極味膳事業などへ支援している。

問 国の政策転換の中で、地元産そばなどへの振興策は。

市長 そばについては全国一律の水田フル活用の戦略作物助成から外れるが、地域振興作物である産地交付金として国から配分する資金枠の範囲内で県が助成内容を設定できることとなり、前年度と同様に、10アールあたり基幹作で2万円と見込まれている。

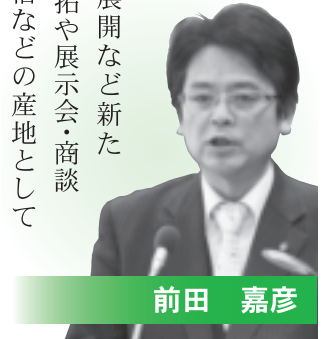
今後、そばの里丸岡新そばまつりの開催など、イベントを通じて地元産そばのPRや地元での消費拡大を図り、地元産食材の振興に取り組んでいく。

問 新たなブランド品開発に対する支援策は。

市長 新たなブランド品の開発には商品のマーケティング戦略が重要で



▲福井県アンテナショップ「南青山2 9 1」



前田 嘉彦

あり、全国展開など新たな販路の開拓や展示会・商談会・情報発信などの産地としてのPR、生産技術の伝承・開発などに対する支援が必要であると考えている。

問 ブランド推進計画を策定しては。

市長 食のブランド推進、ブランド商品の開発を目的に、市商工会が主体となって、J A、観光協会、学識者、県、市などの関係機関で構成する協議会づくりが進められている。

ブランド推進計画の策定については、これらの成果を踏まえながら、今後の研究課題としたい。

生活保護行政の責任

問 3名のケースワーカーに社会福祉主事の有資格者が配置されていない原因は何か。

生活保護のしおりは、保護措置の内容がわからない。改善が必要。

市長 有資格者が一名配置されていたが、退職した。適正な配置に務めたい。

また、生活保護のしおりについては、改善していく。

国民健康保険税の引き下げ

問 一般会計から繰り入れを増やし、税の引き下げを求める。

市長 国保加入者以外の他の保険の加入者との公平性や、都道府県単位化への対応を考慮すると、難しい。

低所得者の税の減免と差押さえ

問 財産の差押さえは、本人と面接し、悪質と判断された場合に執行すべき。

市長 催告書を送付し、相当期間が経過してもなお連絡がなく、自主納付が期待できないと判断した場合には執行する。

問 低所得者への税の減免基準の具体化を

市長 減免基準の範囲を定める方向で検討する。

問 通学バスの父母負担は、廃止すべき



▲通学バス

また、生活保護のしおりについては、改善していく。

問 通学バスは、父母負担を課している。地方交付税の需要額算入額は。

教育長 算入額は、8700万円。

問 バス事業を行わない場合の算入額は。

教育長 算入額はなくなる。

問 負担は廃止すべき。

教育長 全て公費のみで賄えば、公平性を欠く。



松本 朗

総務教育常任委員会報告

付託された議案

- ①坂井市立学校設置条例及び坂井市学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ②坂井市竹田体育館等使用条例の制定について
- ③坂井市営駐車場条例の一部を改正する条例について
- ④坂井市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例について
- ⑤坂井市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について
- ⑥坂井市丸岡スポーツランド条例の一部を改正する条例について

総務部

質疑意見

問 寄付市民参画基金の増額のための方策は。

答 夢のまちさかい創造事業として、市内小学3年生以上の児童から未来の坂井市をイメージした図画を募集し、市民にも制度に関心を持ってほしいと考えている。



◀ 議長賞
高椋小学校
重僧 空阿さん
(しげそう くうあ)
題名
「丸岡城新幹線 開通」

▶ 市長賞
春江東小学校
片岡 茉那さん
(かたおか まな)
題名
「東尋坊カニカニブリッジ」



問 中国嘉興市との経済交流の強化策や交流事業のあり方について。

答 J Aで米輸出を調査、検討している。
平成26年度は、商工会やJ A、観光協会などを交えた経済交流団を派遣したいと思っている。

問 公民館のコミュニティセンター化に、なぜこだわるのか。

答 地域の活性化・連帯感を増し、地域の活性化に役立つと考える。

問 国や県においてもサイン看板を設置しているので、計画を進めるに当たっては十分に連携、相談、調整、整合性について留意してほしい。

答 国や県のサイン看板と重複する形になると非常に分かりにくいので、県などと協議しながら表示や設置について考えていきたい。

財務部

質疑意見

問 補正予算における繰越明許費の工事契約関係について、工期の設定は適正なのか。

答 国などの補助金関係で、前倒しで契約しなければならないものなどがあるが、発注の際は適正な工期を把握している。

問 三国庁舎の耐震改修の結果、費用対効果を考えて、大規模改修より建物の規模を縮小して建て直す考え方もあると思うが、その方向性について。

答 まずは、耐震診断調査の結果を見ないと結論は出ないので、結果が出てから検討したい。

問 国民健康保険税に係る低所得者対策とは。

答 今まで坂井市には基準がなく、運用という形で対応していたが、平成26年度において基準となる要綱を設けたい。

教育委員会

質疑意見

問 各小学校の環境教育への取り組みの幅をもっと広げてはどうか。

また、中学校での取り組みについてどうなっているのか。

答 小学校では、清掃活動、水質調査など市や環境団体と連携して行っている。

中学校においても生徒会を中心に、川や海岸のゴミ拾い、丸岡城周辺の清掃活動など学校単位で取り組んでいる。

問 適応指導教室「ステップスクールさかい」で、学校に復帰した児童数は。

答 平成24年度については、15名中10名が復帰している。

生活福祉常任委員会報告

付託された議案

- ①平成25年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ②平成25年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ③平成25年度坂井市病院事業会計補正予算(第3号)
- ④坂井市立保育所条例の一部を改正する条例について
- ⑤坂井市子ども医療助成に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑥坂井市保健センター条例の一部を改正する条例について
- ⑦請願「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願」
- ⑧陳情「要支援者の予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情書」

生活環境部

質疑意見

問 坂井市環境基本計画改定版(案)について、社会情勢の変化にあわせたテーマになっているのか。

答 地球温暖化対策は新エネルギーと表示していたが、改定版の中では、再生可能エネルギーの導入と示した。

問 坂井市の再生可能エネルギーの現状を把握しているのか。

答 補助金関係で市に届けのある、一般家庭の太陽光発電では約1000世帯である。風力発電については電力会社が調査を進め、これから着工に向けて進める。また、木質バイオマスについては民間会社が、森林組合、温泉旅館などと共同で木質チップを燃焼させ、エネルギー循環型で計画をしている。

福祉保健部

質疑意見

問 音楽体操いきいき教室の事業拡大について。

答 介護予防サロンや敬老会などでお願いしていく。特に高齢者の健康づくり、心のケアも含めて事業拡大を進めていく。

問 幼保園をこども園にするには。

答 平成30年までに、随時、こども園とする方向であるが、こども園は、保育所部と幼稚園部があると同時に子育て支援事業を実施しないと、こど

も園とは認められない。

三国病院

問 経営形態の見直しの検討も必要と思うが。

答 今年度から経営改善委員会の中で、病院の経営状況を説明し、改善に向けて努力している。病院改革プランは、単年度の収益評価で、全体的なチェックには至っていないので、今後検討する。

請願 「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願」について

主な賛成意見

- ・言葉が使えないが意思伝達していくうえでは、伝える機会を認めることは大事。
- ・障がいの方が健常者と同じように過ごせる社会を作っていないといけなない。

以上の意見を受け、本委員会では採決の結果、採択とすることにした。

陳情 「要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情書」について

主な反対意見

- ・本制度によるサービスの低下を懸念しているものの、財政措置は継続して図られ、市独自の財政支援などによるプラス面もある。
- ・今後の対策として地域全体で見守り、しっかりした体制づくりを行なうことによって、懸念は払拭されると考えており、地域支援事業に移行していくことに一定の理解を示すものであるとの意見であった。

以上を受け、本委員会では採決の結果、不採択とすることにした。



▲議場での手話通訳

産業建設常任委員会報告

付託された議案

①市道路線の認定について

産業経済部

質疑意見

問 観光戦略ビジョン事業について、坂井市が目指す日本一を民間と行政と協力してつくるべきでは。

答 観光については、民間と行政が連携することが重要であり、行政の役割をしっかりと果たしていく。

問 地域用水機能増進事業の中の補完ハード事業の補助対象外工事分にゆりの里公園内の水車があげられているがその経緯は。

答 ゆりの里の横に調圧水槽が建設され、それを利用した水辺空間の創設を行いたいということで、全体的な景観を考え補助対象外となるものも入れた。

問 東日本大震災の復興に際し、地籍調査済みの地域と地籍調査をしていない地域では、復興に要する時間やお金など様々な面から見ても1.5倍以上違うという地籍調査のメリットを聞くが推進の考えは。

答 地籍調査のPRはしているが、現在8地区の要望が残っている。毎年2地区ずつ進めているが、具体的に要望が出てきた段階で、計画の中に組み入れて進めていく。

問 商工会の補助金監査は行なっているのか。

答 商工会の補助事業については年度を過ぎたら実績報告を受けている。

担当課としても、補助事業の監査については、日常的に実施しなければならないと考えており、その数値や効果などについて十分に精査していきたい。

問 有害鳥獣捕獲事業についてカラス捕獲機器とはどのようなものか。

答 今想定して考えているのは4m×6mぐらいの大きな檻である。

カラスが入っては来ても逃げて行けないというトラップを仕掛けて処分するということを考えている。

問 鷹たか匠たかを活用した事業とは、どのようなものか。

答 鷹たかにより、カラスをおびき寄せ駆除をする事業である。

建設部

質疑意見

問 交通安全施設整備事業について、カーブミラーに関する緊急点検、危険箇所、安全確保のための点検を行なったが現状は。

答 2月中に建設部の職員が確認したところ、修繕を要する箇所が127基。

その中で特に修繕を要する箇所が49基あり撤去や修繕など早急に対応する。



▲修繕を要するカーブミラー

問 丸岡城の西側広場整備事業の具体的な説明を。

答 城の防火水槽を敷地内に設置したり、手紙資料館の建設案などで整備が遅れたが、当初の計画どおり公園整備を進めていく。

維持経費がかからないように整備をしていく。



▲公園整備予定地

上下水道部

質疑意見

問 来年度以降の上下水道部における懸案事項は。

答 上下水道ともに施設の更新が目前に迫っており、膨大な経費が予想される。

給水収益は伸び悩んでいる状態であり、年次計画を立て、国庫補助事業を活用しながら施設の更新や耐震化などを進めていく。

定例会審議結果

●3月定例会に提出された議案と議決結果

○…賛成 ×…反対 △欠席 —…原則採決に参加できない

議案番号	件名	議決結果	議席																									
			1	2	3	4	5	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	22	23	25	26			
			南北ちとせ	古屋信二	上出純宏	田中哲治	佐藤寛治	松本朗	東野栄治	伊藤聖一	辻人志	川畑孝治	前田嘉彦	橋本充雄	永井純一	前川重雄	畑野麻美子	高間正信	山田栄	広瀬潤一	田中千賀子	木村強	岡田十八	山本洋次	釣部勝義			
議案第1号	平成25年度坂井市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第2号	平成25年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第3号	平成25年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第4号	平成25年度坂井市病院事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第5号	平成26年度坂井市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第6号	平成26年度坂井市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第7号	平成26年度坂井市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第8号	平成26年度坂井市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第9号	平成26年度坂井市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第10号	平成26年度坂井市農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第11号	平成26年度坂井市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第12号	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第13号	坂井市立学校設置条例及び坂井市学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第14号	坂井市竹田体育館等使用条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第15号	坂井市営駐車場条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第16号	坂井市立保育所条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第17号	坂井市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第18号	坂井市保健センター条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第19号	坂井市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第20号	坂井市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第21号	坂井市丸岡スポーツランド条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第22号	坂井市立三国病院使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
請願第1号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
陳情第1号	要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情書	不採択	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	△	△			
発議第1号	手話言語法制定を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		議席	1	2	3	4	5	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	22	23	25	26			

第8回 議会報告会

第8回議会報告会を2月20日に加戸公民館、丸岡公民館、2月21日に春江東公民館、大関公民館にて開催しました。

12月定例会についての報告と質疑のあと、小グループに分かれて参加者との意見交換を行い、たくさんのご意見ご質問がありましたので、みなさんの声を抜粋して紹介します。

参加者の声

- 三国運動公園ほか27施設の指定管理者の選定にあたっては、市内業者の公募があったのか。
- 自主防災組織は出来ており、ハード面では整いつつあるが、何をすればよいのか分からず、ソフト面での指導をお願いしたい。
- 新たなサッカー場建設計画を新聞報道で知った。所有者には了解済みだと思いが、農家組合長は知らない。国体のための坂井市の振興策なら、地元説明の責任があるのではないか。
- 幼保一元化のメリット、デメリットは。
- 城周辺整備計画は、市民に対しての説明が足りない。
- 区で除雪機を購入したが、補助はあるのか。
- カラスの糞による環境被害が多く、対策を考えてほしい。
- 福井港丸岡インター線と南北線について、ホームページ上でパブリックコメントを求めているが、開示してある資料が少なく不親切であり、コメントができない。
- 春江駅前周辺整備計画には中公民館の建て替えも入っているが、駅東側の計画がお粗末である。東部地区は、世帯数・人

口が急激に増え、東部地区の利用者が圧倒的に多いのに、市はどのように考えているのか。

- 防災に関して、一般質問における議員の発言が少ないのではないか。福井大震災の教訓・震源地の周知を基に意識向上に努めてほしい。
- 除雪について、歩道や路側帯までやってほしい。
- 嶺北縦貫道路が渋滞するので、その解消法を検討してほしい。
- 丸岡サッカー場の整備について、駐車スペースは確保できるのか。
- 小学生にも自転車運転時にはヘルメットを被せるべきだし、必ず保険に入るようにすべきだと思う。
- コミュニティバスの道の駅さかいでの乗換時に雨をしのぐところが無い。

以上、参加者の声として一部を掲載しました。

これ以外の声については、その場で答弁したり、国や県への要望などは、担当部署より国や県などに伝える旨の返事をしました。



▲三国地区



▲春江地区

アンケートから見る議会報告会への意見
○ 議会報告会でお気づきになった点、発言できなかった点、また坂井市議会全般について

- ・ 前もって勉強をしておきたいので、1ヶ月前からいから周知をしてほしい。
- ・ 議員が1つのテーブルに一緒に入り、身近に話し合いが出来て良かった。
- ・ 市の活性化、PRのため2〜3年テーマを決めて取り組んだらどうか。
- ・ 回答が不明瞭。
- ・ 女性の参加者が少ない。
- ・ 防災に関して、防災に強く一緒に考えてくれる議員に今後相談していきたい。

○ 議会だより、ホームページ、ケーブルテレビ放映といった坂井市議会の広報について

- ・ 効率がどうなのか。外見のみの体裁のために使われていないか。
- ・ 質疑応答が広報では、はっきり理解できない。

平成25年度 一般会計3月補正予算概要

補正額 26億1,451万円 (補正後の額 356億3,776万円)

主な事業

- **小・中学校施設整備事業** --- 23億3,635万円
国の経済対策により平成26年度に予定していた小学校耐震改修工事などを前倒しする。
- **公営住宅ストック総合改善事業** -- 1億4,593万円
江留上団地2号棟の耐震補強を伴う全面的改修工事費(継続事業)。
- **まちづくり交付金事業** ----- 4,030万円
丸岡城西側に付近住民の憩いの場と観光客増大を図るために広場を整備する工事費。
- **除雪対策事業** ----- 2,600万円
除雪業務委託料や除雪機械借上料など。
- **広域入所児童保育業務委託事業** -- 2,040万円
年度途中の本市への住所移転に際し、子どもの保育環境を変えたくないなどの理由により、広域入所希望児童の増加による、近隣市町への保育業務委託料。
- **道路橋りょう維持事業** ----- 1,890万円
市が管理する道路工作物などの点検を実施するものであり、橋梁点検、道路照明灯、道路標識点検などの業務委託費。
- **保育所管理運営事業** ----- 1,803万円
安田幼保園増改築工事において、埋設物の撤去・処分費など。
- **道路改良補助事業(未政・随応寺線など)**
----- △4,271万円
国の交付決定額が要望額より減額となったため、工事費などの減額。
- **市債償還利子** ----- △1,300万円
変動金利借入に伴う利率変更及び借入利率確定などによる減額。

広域連合・一部事務組合報告

坂井地区広域連合

- 平成26年1月：第47回定例会
 - 平成25年度 一般会計補正予算 他7件が可決
- 主な議案**
平成25年度一般会計・特別会計補正予算
平成26年度一般会計・特別会計予算

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

- 平成25年11月：第158回定例会
 - 平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について
 - 福井坂井地区広域市町村圏事務組合職員の再任用に関する条例の制定について

福井県後期高齢者医療広域連合

- 平成25年11月：第2回定例会
 - 平成25年度 一般会計補正予算 他2件が可決
- 主な議案**
平成24年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定
平成25年度一般会計・特別会計補正予算

武生三国モーターボート競走施行組合

- 平成25年12月：第4回定例会
 - 競走用ボート購入について
 - 競走用モーター購入について

嶺北消防組合

- 平成25年12月：第5回臨時会
 - 平成25年度 一般会計補正予算 他2件が可決
- 主な議案**
平成25年度一般会計補正予算
嶺北消防組合火災予防条例の一部を改正する条例について

五領川公共下水道事務組合

- 平成25年12月：第89回定例会
 - 五領川公共下水道事務組合下水道条例の一部を改正する条例の制定について
 - 五領川公共下水道事業受益者負担金に関する条例及び五領川公共下水道事業区域外流入分担当金の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議会報告会を開催します

今回は、3月議会の内容について下記の会場にて開催しますので、みなさまのご参加をお待ちしています。

開催日時	会 場		
5月22日(木) 午後7時30分～	浜四郷公民館 1階 多目的ホール	三国町下野58-16	TEL 81-3001
	東十郷公民館 2階 視聴覚室	坂井町長畑25-11-1	TEL 66-4567
5月23日(金) 午後7時30分～	鳴鹿公民館 1階 会議室(和室)	丸岡町上金屋5-10-12	TEL 66-7452
	大石公民館 2階 大ホール	春江町上小森6-12	TEL 72-0002

※時間は変更する場合があります。

(市民の方は、どの会場でも参加自由です)

広報編集活動を振り返って

委員長 伊藤聖一

編集委員は、定例会ごとに数十時間を費やし、議会の広報活動に努めてきました。情報公開や説明責任が問われる時代であり、インターネットが普及した時代であっても、紙面による広報の重要性は増すばかりだと思います。これから益々市民に読んでいただける広報紙に進化してほしいと願っています。ご愛読ありがとうございます。

副委員長 古屋信二

私にとって4年間の編集委員会は議会活動を学ぶことができ大変スキルアップにつながりました。また、議会活動を市民にどう分かりやすく伝えるか毎回苦労しました。今後も、市民の皆さんに愛読できるよう努めていきます。

委員 田中千賀子

市民の皆さんにおかれましても議会活動、市政に関心をもってください。市政への関心をもっていただくことが議員の資質向上、市の活性化にもつながります。これからも市民に親しまれる広報紙になるよう頑張ります。

委員 畑野麻美子

みなさんに親しみやすい「市議会だより」これが広報委員としてのモットーでした。少しはお役にたったでしょうか。私たち議員にとっては、議会活動を振りかえる場でもありました。ありがとうございました。

委員 川畑孝治

世の中に色々な情報が溢れている今日、議会の情報を伝える「市議会だより」、限られたスペースで分かりやすい言葉で伝える難しさを実感しました。今後も議会と市民の皆様と共に、より良い坂井市になりますように祈念いたします。

委員 辻 人志

市民の皆様にあえられる「市議会だより」を目指し、分かりやすい表現の採用や公募による表紙写真掲載などの工夫をしてきました。これからも皆様に分かりやすい広報を第一に考え紙面編集に努めていきます。

委員 東野栄治

後半2年間、編集委員会で活動させていただきました。市議会だよりは、市民の方が読みやすく、親しみやすいことが必要です。いかに伝え、理解していただくのか。そのことを考えながら、これからも活動していきます。これまでご愛読していただき誠にありがとうございました。

委員 佐藤寛治

市議会だより表紙写真の一般募集や題字を小学生に揮毫をお願いするなど、市民の皆様から親しまれる「市議会だより」を目指してきました。これからは議会での出来事など市民目線で、分かりやすい広報紙づくりに努力してまいりますので、ご拝読下さるようお願いいたします。

委員 田中哲治

市民の皆様から紙面でお届けする「市議会だより」は、まず市議会に興味を持っていただくのが第一の使命と思います。見やすい、分かりやすい紙面づくり、また表紙の写真、題字については、小学生などをお願いをして、身近な「市議会だより」にも取り組んできました。これまでのご愛読に心より感謝申し上げます。

委員 南北ちとせ

「市議会だより」を通して市民の皆様から市政を分かりやすく、親しみやすくお伝えできるよう努めてまいりました。私にとりましては、1回1回が学びの場であり、委員会を通して市の良いところを再発見できました。4年間、誠にありがとうございました。



4月20日(日)は坂井市議会議員選挙投票日です。